

ブロッコリーとビタミン菜の種間交雑による新野菜‘あすっこ’の育成

春木和久

摘要

1. ビタミン菜とブロッコリーを交配し、胚珠培養とコルヒチンを用いた染色体倍加により、新しいタイプの野菜‘あすっこ’を育成した。有望系統としてブロッコリーを種子親とした‘あすっこ No.0101’とビタミン菜を種子親とした‘あすっこ No.0108’の 2 系統が選抜できた。
2. 葉はブロッコリーに類似し、葉身の基部には切れ込みがあり複葉状になる。3 月中旬頃から抽だいが始まり、葉と花茎を食用に利用できる。
3. 抽だい前の茎葉にはアスコルビン酸、 β -カロテンが‘ビタミン菜’より多く含まれ、糖含量も高かった。花茎では‘ビタミン菜’よりアスコルビン酸含量は多かったが、 β -カロテンは少なかった。
4. 選抜した 2 系統の特徴から、‘あすっこ No.0101’は花茎の収穫に、‘あすっこ No.0108’は葉の収穫に向いていると考えられる